

手のり仔猫



Contents

目次



● 3Dビューアーの使い方…………… 3

🌸 人気猫種をめぐる旅(前半)

スコティッシュフォールド…………… 6

アメリカンショートヘア…………… 12

マンチカン…………… 19

ロシアンブルー…………… 27

ペルシャ(チンチラ)…………… 35

ミックス…………… 41

メインクーン…………… 49

● 世界の猫たち…………… 56

🌸 人気猫種をめぐる旅(後半)

アビシニアン…………… 58

ラグドール…………… 67

ソマリ…………… 77

ブリティッシュショートヘア…………… 87

● 裸眼立体視の方法…………… 91

アメリカンショートヘア(交差視)…………… 92

ブリティッシュショートヘア(交差視)…………… 94

ソマリ(平行視)…………… 95

本の中の猫たち

ギヨーム・アポリネール「猫」…………… 9

ジュール・ルナール「博物誌」…………… 11

ポール・ギャリコ「猫語の教科書」…………… 17

トルーマン・カポーティ「ティファニーで朝食を」…………… 18

エリック・ガーニー「ぬけめのない猫とくらすには」…………… 21

レイモンド・チャンドラー「二人の作家」…………… 28

向田邦子「眠る盃」…………… 37

チャールズ・ピエール・ボードレル「猫」…………… 50

英国の伝承童謡「マザー・グースのうた」…………… 54

リリアン・J・ブラウン「猫は殺しをかぎつける」…………… 55

ロバート・A・ハインライン「夏への扉」…………… 61

E・T・A・ホフマン「牡猫ルムの人生観」…………… 66

ルイス・キャロル「ふしぎの国のアリス」…………… 70

夏目漱石「吾輩は猫である」…………… 71

ガルシア・マルケス「エバは猫の中に」…………… 73

大佛次郎「猫のいる日々」…………… 78

伊丹十三「再び女たちよ!」…………… 86

ライアル・ワトソン「ネオフィリア」…………… 97

97 86 78 73 71 70 66 61 55 54 50 37 28 21 18 17 11 9

96 94 92 91 95 93

87 77 67 58 56 49 41 35 27 19 12 6 3

この足型は、撮影した仔猫たちの肉球と原寸大の足がたです



Russian Blue



British Shorthair





人気猫種をめぐる旅 (前半)

スコティッシュ フォールド

Scottish Fold

いま人気猫種の代表格に上がってきた丸いフォルムの顔が特徴のスコティッシュ・フォールド。その愛らしさの秘密は、耳にあります。前方に倒れ、平たく頭に覆いかぶさる耳と優しく丸い眼は、この猫の、温和な性格を表しているようです。



本の中の猫たち

僕は持ちたい 家のなかに
理解ある細君と

本のあいだを歩きまわる猫と
それなしにはどの季節にも
生きてはゆけない友だちと

「猫」
ギヨーム・アポリネール
堀口大學訳 岩波文庫



本の中の猫たち
棚

私のはねずみを食わない。そんなことをするのがいやなのだ。つかまえても、それを玩具にするだけである。

遊びあきると、命だけは助けてやる。それからどこかへ行つて、尻尾で輪を作つてその中にすわり、げんこのように格好よくひきしまった頭で、余念なく夢想にふける。しかし、つめ傷がもとで、ねずみは死んでしまう。

「博物誌」
ジュール・ルナール
岸田國士訳 白水社



▲耳立ちのスコティッシュフォールド。

アメリカンショートヘア

American Shorthair

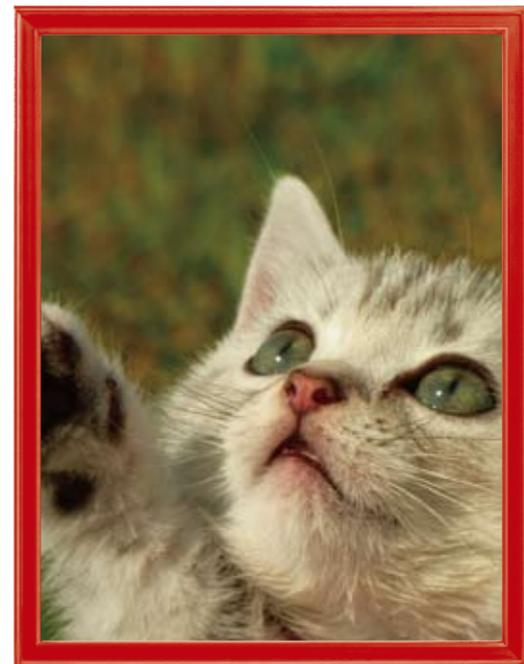
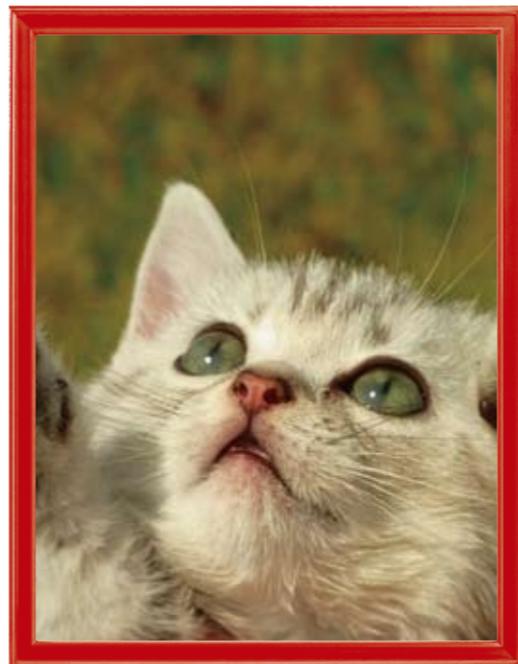
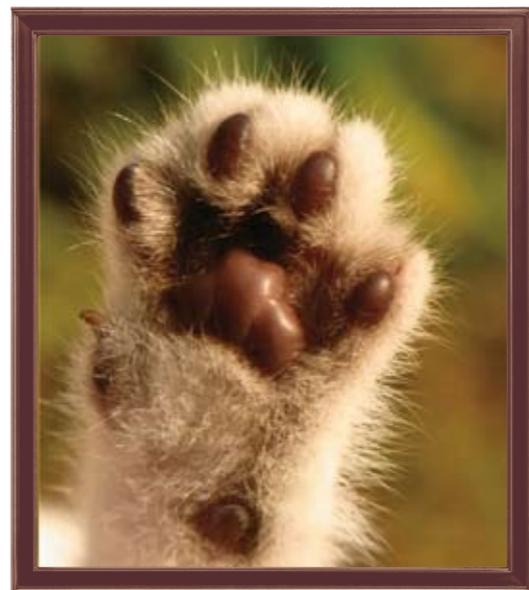
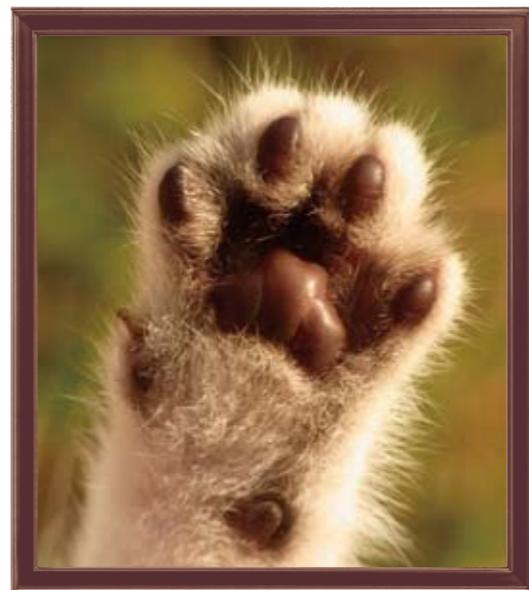
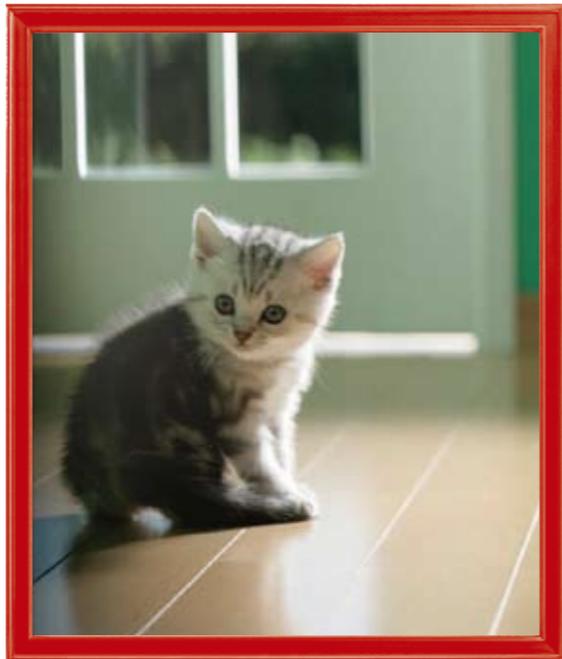
開拓者がアメリカ大陸に持ち込んだのが、この先祖。ねずみ等の駆除に大活躍した作業猫です。それが愛らしい姿と気性、被毛の美しさに、頭の良さが評価され、一躍人気ペットキャットに。当初はショートヘアでしたが、65年に現在の名に。根強い人気を維持します。



American Shorthair

アメリカンショートヘア





本の中の猫たち

猫が人間を支配下におくためには「猫というものは独立心が高く、人間の思いどおりにはならない」という評判がとても役に立ちます。このことはゆめゆめ忘れてはいけません。

「猫語の教科書」
ポール・ギャリコ
灰島かり訳 ちくま文庫



マンチカン

Munchkin

この短脚具合は、猫のダックスフンド。ルーツは83年に発見された極端に脚の短かった雌猫。当初は脊髄や骨格に欠陥があるのではとの憶測もありましたが、現在では、四肢に問題がないことが分かっています。性格は陽気で遊び好きと言われ、最高のペットと賞する声も。

本の中の猫たち

ある日、偶然、河のほとりでめぐりあつて仲が良くなっただけ。おたがいにどっちのものでもないのね。この子も独立しているし、あたしもさうなの。

「ティファニーで朝食を」
トルーマン・カポーティ
瀧口直太郎訳 新潮文庫





生後3日目



生後7日目



生後16日目



生後48日目



本
棚
の
中
の
猫
た
ち



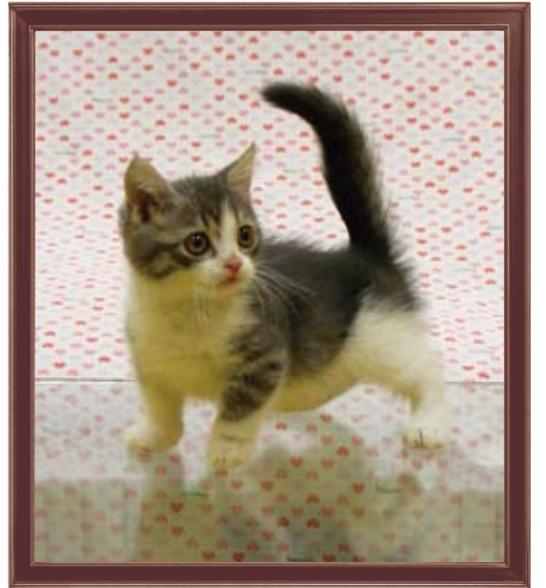
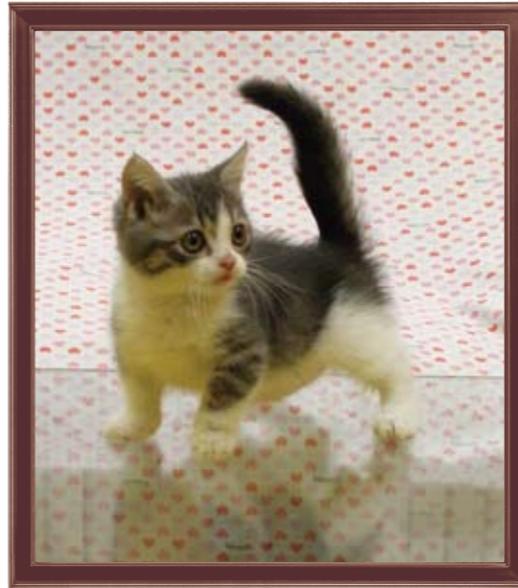
仔ねこのしつけの基本では、主人の
ひざのうえにまるまっちくのって、の
どをごろごろ鳴らし、愛情たっぷり
見あげて、主人を味方につけること。

「ぬけのない猫とくらすには」

エリック・ガーニー

犬養智子訳 晶文社





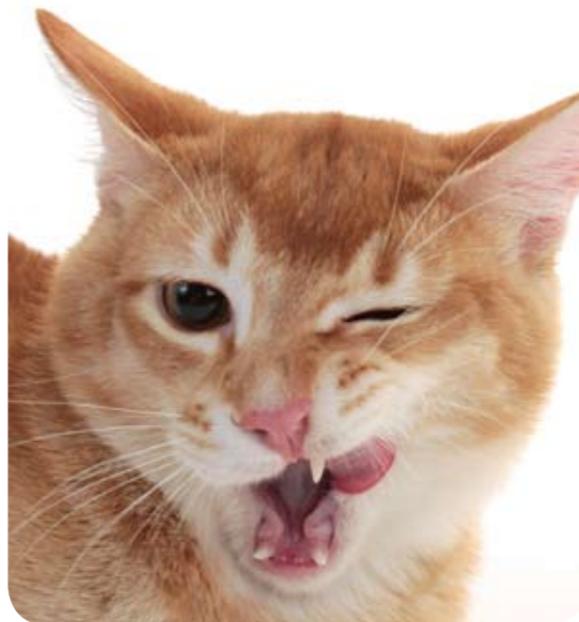
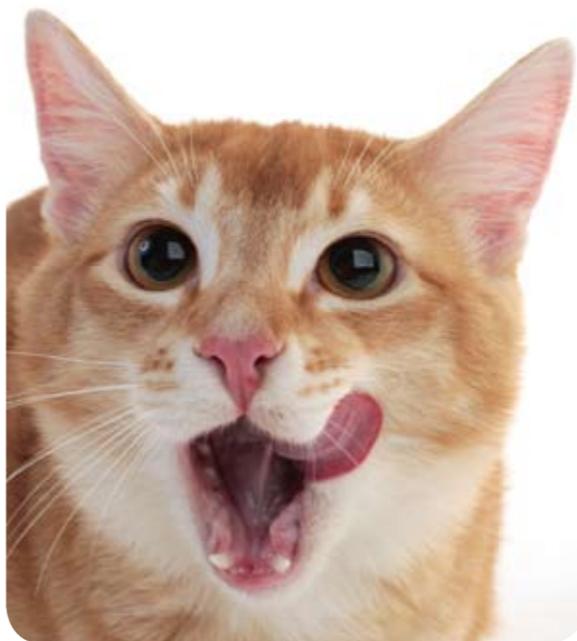


Russian Blue

ロシアアンブル



ブルーグレーの被毛と緑の瞳が印象的な「短毛種の貴族」ロシアアンブル。別名を「冬の精」とも。ロシアの商船に乗ってきた猫とシャムを掛け合わせたものが祖先。したがって、生まれはイギリスです。静かな猫で「ボイスレス・キャット」とも言われます。

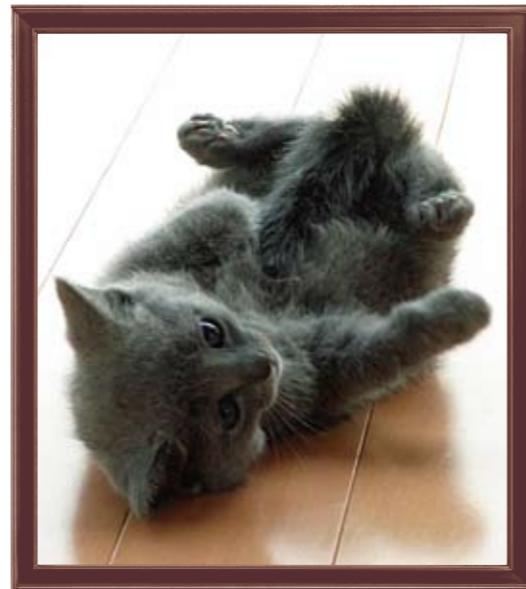


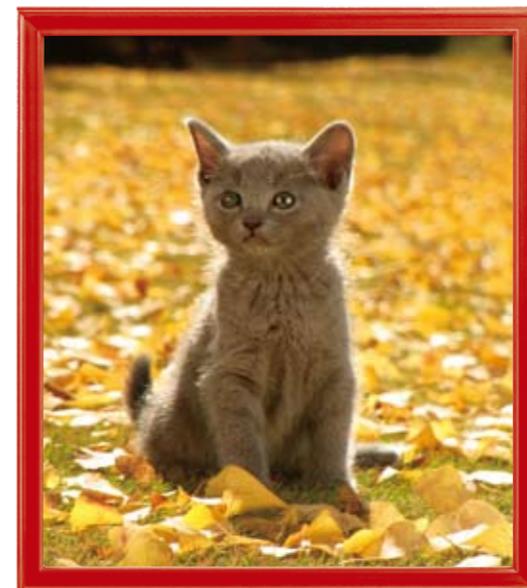


本の
中の
猫
たち

秘書というのは、つけくわえておくべきでしょうが十四歳になる黒いペルシャねこで、彼女は私がものを書き始めてからずっと私のそばにいて、いつも私が使おうとする紙か、私が手を加えようとする原稿の上に坐っていて、ときにはタイプライターによりかかったり、またあるときはデスクのすみからしずかに窓の外を見つめて、“ねえ、あんたが書いているものは時間のむだよ”と言っているようなので、私は彼女を秘書と呼んでいるのです。

「二人の作家」レイモンド・チャンドラー語るより
レイモンド・チャンドラー
清水俊二訳 早川書房







ペルシャ (チンチラ)



Persian

被毛の優雅な美しさは特筆です。アフガニスタンが生んだ世紀の大傑作とも言われますが、ルーツについては未だ諸説あるミステリアスな猫。一方で、特徴ある扁平な顔立ちと丸い眼は愛らしく、穏やかな性格とあいまって、長く人から愛され続ける猫です。





本の中の猫たち
棚

一つだけはっきりしているのは、これは人間とのつきあいにしても同じことだろうが、馴染めば馴染むほど判らないということだ。恐ろしくカンが鋭くて視線ひとつで、こちらの心理の先廻りをするかと思うと、まぎれもなく野獣だな、と思い知らされたりもする。甘えあって暮らしながら、油断は出来ない、その兼ね合いが面白い。

「眠る盃」

向田邦子 文藝春秋